

【概要】



【内容】

- ・データ化が困難な古い機械やメーターを、画像処理によりデータ化します
- ・ランプ、文字、アナログメーター、デジタルメーター、直線型のメーターを20個まで同時に認識して、認識結果をCSV形式で出力します。

【効果】

- ・対象機器をカメラで撮影するだけでデータ化をすることができます。
- 機器の改造等が不要なため、機器の動作に影響なく安全に導入できます

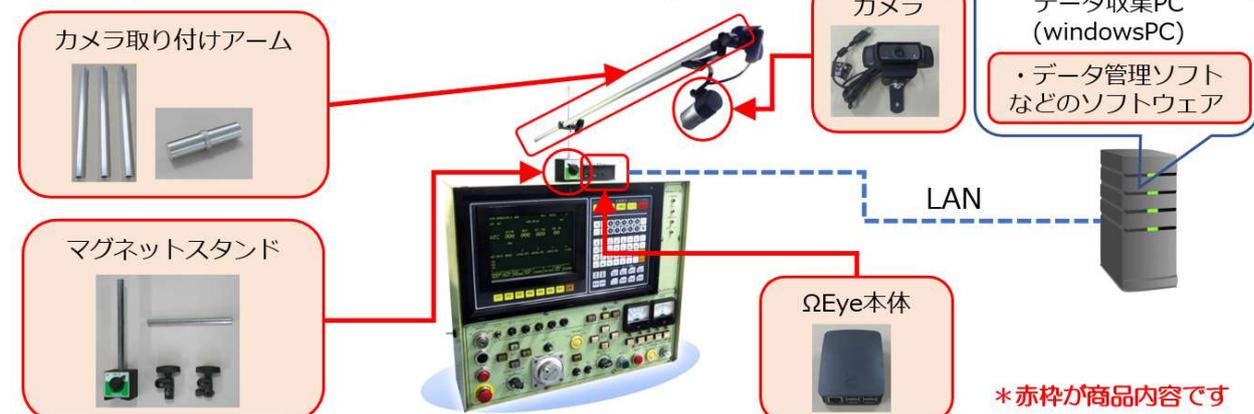
カメラが作業者の邪魔にならないよう、機器の斜め上から撮影してもデータ化することができます。

認識対象の指定は、付属するツールでの認識設定で完結するため、追加のカスタマイズ費用がかかりません。

ユーザー様の現場に合わせて、ハードウェアセットでのご提供、またはソフトウェアでのご提供をご選択いただけます。

ハードウェアセット版

カメラや画像処理ユニットなどハードウェアを含めて提供します



SOFIXCAN Ω Eye Standard

ΩEye本体にカメラ1台を接続できる標準モデルです

SOFIXCAN Ω Eye Plus

ΩEye本体にカメラを10台まで接続できるモデルです。USBカメラは4台まで、他はGigEカメラを使用します。最低認識間隔は、カメラ接続数×1秒になります。その他、外部からの指令により、任意のタイミングで認識する機能が搭載されます。

ソフトウェア版

認識ソフトウェアを売り切りで提供します

SOFIXCAN Ω Eye for Windows

Windows用の認識ソフトを提供します。提供するソフトはPlus版と同等機能となりますが、カメラの接続台数に制限はありません。(USBカメラはマザーボードのUSBポート数まで。USBハブは使用できません) WindowsPCやカメラはユーザー様にてご用意頂く事を想定していますが、こちらで産業用PCを用意する事も可能です。

